

観せる魅せる色彩講座第4弾 in OSAKA パーソナルカラーへの色彩学的アプローチ

講師 市場 丈規さん (Color Lab. for full Life 主宰)

市場講師は、日本色彩学会くらしの色彩研究会の一員として、パーソナルカラーを色彩学的に検証する研究を行っています。昨年、今年と2年連続で計4報を全国大会で発表しています。そうした実績を踏まえ、「パーソナルカラーへの色彩学的アプローチ」と題した講演と実習を行って頂くことになりました。

当然、例年通り実演・実習を中心にした体験型の講座になります。今回は特に Color Lab. for full Life のオリジナル商品 NCS に基づく肌色 40 色票 Skin Color Analyzer を使った肌色測色を行いながら、光源、色票、視感測色と物理測色の基本などを体験と実習で示していきます。また感覚的な「似合う・似合わない」を一对比較法を使って定量化・数値化する実習も予定しています。

パーソナルカラーに限らず、色彩教育の基本的なスキルアップに役立つ構成になっています。

講師のプロフィールや実績は <http://colaful.jp> をご覧下さい。

日時 7月1日(日) 13:30~16:00

場所 大阪市立総合生涯学習センター第3研修室

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5F

<http://www.osakademanabu.com/umeda/> 参照

定員 25名 参加費 2,500円 主催 Color Links

第1部 研究発表要旨紹介

今年5月の色彩学会全国大会におけるパーソナルカラーに関する発表要旨を紹介

①ドレーブに適した色表示空間 ②カラリストと一般の方のドレーピングによる印象評価の差異

第2部 肌色を測る

「ピンク系」「オークル系」などと云われる肌色はどんな色、数値化するとしたら？

①とりあえず、お互いの肌色を Skin Color Analyzer を使って測ってみましょう。結果をその場でグラフ化し、感覚と測色結果とを比較します。

②色を測るとき留意しなければならないのは、まず光源でしょう。光源によるメタメリズムや演色性の様子を分光分布やスペクトルの観察をまじえ、わかり易く見せます。

③次には対象に適した色票です。Skin Color Analyzer はなぜ、NCS なのか。

④視感測色における面積効果や背景色とマスクの意味を実際の測色を通して体験して頂きます。

⑤物理測色：分光分布から見えるもの、物理測色の“落とし穴”を分光測色器を使って提示します。

第3部 「似合う・似合わない」を数値化(定量化)する

感覚的な「似合う・似合わない」が数値化できるでしょうか？

心理評価法の一つ一对比較法を使って、「似合う・似合わない」を数値化する試みをしてみましょう。

申込み方法・支払い方法等は info@calaful.jp へお尋ね下さい。

申込み先や支払先を掲載した詳細案内を送らせて頂きます。